



No. 26163

# 濃度計量証明書

令和8年3月31日

常石鉄工(株) 若松スチール工場 殿

日東化学工業株式会社  
 北九州市小倉南区徳吉東4丁目9-1  
 電話 093(451)2711  
 F A X 093(451)5537  
 福岡県登録濃度第29号

環 境 計 量 士	印
下 村 賢 史	

貴依頼によるばい煙量等の計量の結果は次のとおりです。

測 定 場 所	常石鉄工(株) 若松スチール工場
ばい煙発生施設の種類	産廃焼却施設
測 定 年 月 日	令和 8 年 3 月 22 日
測 定 時 間	4:50 ~ 6:50
測 定 者 氏 名	宮本 勝美 脇園 義治 久松 亮司 山下 雄也

		定量下限値					
計 量 の 対 象	(湿り, 乾き) 排ガス量※	m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h	湿り: 597,000 乾き: 591,000				
	排ガス温度※	°C	17.6				
	水分量※	%	1.0				
	ダスト濃度	g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.0020 g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	実測値: 0.0089			換算値: ----
	排ガス組成※	%	O <sub>2</sub>	CO <sub>2</sub> ※	O <sub>2</sub>	CO ※	N <sub>2</sub> ※
			0.20 %	0.2	20.6	0.0	79.2
	全硫黄酸化物濃度	ppm	1 ppm	N.D			
	全硫黄酸化物量※	m <sup>3</sup> <sub>N</sub> /h	N.D				
	窒素酸化物濃度	ppm	5 ppm	実測値: N.D		換算値: 45未満	
	塩化水素濃度	mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.4 mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	実測値: N.D		換算値: 3.6未満	
水銀濃度	μg/m <sup>3</sup>	0.03 μg/m <sup>3</sup>	実測値: 0.05		換算値: 0.41		
水銀濃度	μg/m <sup>3</sup>	0.001 μg/m <sup>3</sup>	実測値: N.D		換算値: N.D		
全水銀濃度	μg/m <sup>3</sup>	実測値: 0.05		換算値: 0.41			

※は計量法第107条の計量対象外です。

計量の方法

排ガス中のダスト濃度の測定方法(JIS Z-8808 ろ過捕集による重量濃度測定方法)

排ガス中の窒素酸化物分析方法(JIS B-7982 自動測定)

排ガス中の硫黄酸化物分析方法(JIS K-0103)

排ガス中の塩化水素分析方法(JIS K-0107)

排ガス中の水銀分析方法(環境省告示第94号、粒子状:JIS K-0222)

排ガス中の酸素分析方法(JIS K-0301 5. 化学分析法 オルザット式)

備考 定量下限値未満をN.Dと表す。

貴施設における標準残存酸素濃度(On)

ダスト濃度: Os

窒素酸化物濃度: 12

## 煤煙発生施設の測定状況

名称及び形式	産廃焼却施設	
設置年月日		
伝熱面積	m <sup>2</sup>	
バーナー燃焼能力	l/h	
火格子面積	kg/h	
焼却能力		
燃料種類		
燃料使用量	m <sup>3</sup> /h	
運転状況		

## 水分量測定記録

測定点	条件		ガスメータ記録				測定値	
中心	吸引ガス 流量	大気圧	吸引 ガス量	ガスメータ 温度	ガスメータ 圧力	θ mの飽和 水蒸気圧	吸湿 水分質量	水分量
測定時刻	qm	Pa	Vm	θ m	Pm	Pv	ma	Xw
	l/min	kPa	l	℃	kPa	kPa	g	%
5:00	3.0	101.3	9.0	8.0	0.01	1.1	0.07	1.0

## 排ガス組成測定記録

測定点	オルザット測定値 ( V / V % )				空気比
中心	CO <sub>2</sub>	O <sub>2</sub>	CO	N <sub>2</sub>	m
採取時刻					
4:50	0.2	20.6	0.0	79.2	45.41

<水分量の計算>

$$Xw = \frac{\frac{22.41}{18.02} \times ma \times 100}{Vm \times \frac{273.15}{273.15 + \theta m} \times \frac{Pa + Pm - Pv}{101.32} + \frac{22.41}{18.02} \times ma} \quad (\%)$$

<空気比の計算>

$$m = \frac{N_2}{N_2 - 3.76(O_2 - 0.5CO)}$$

<湿り排ガス量の計算>

$$Q_N = \frac{273.15}{273.15 + \theta s} \times 60 \times 60 \times A \times \frac{Pa + Ps}{101.32} \times V \quad (m^3_N/h)$$

<乾き排ガスの計算>

$$Q'_N = Q_N \times \left(1 - \frac{Xw}{100}\right) \quad (m^3_N/h)$$